

検討議題（案3）「スポーツ指導者の育成及び環境改善」

【第1回審議会における関係意見】

- ・ 指導者が子供を育てるのであり、めり張りのついた予算として、指導者の育成に最も予算を掛けるべき（山本委員）
- ・ 子供が主体的に自分の体の使い方やルール、戦略等を考えながら、スポーツを楽しむことができような教育を進めるべき（高橋委員）
- ・ 部活動指導における競技団体（技術指導）と教員（活動指導）との連携（宮本委員）

検討議題（案3）「スポーツ指導者の育成及び環境改善」

【関係する主な既存事業】

- ・（世界クラス、上級）指導者
確保・育成事業



- ・ジュニアアスリート
指導者資質向上事業



- ・ドリカムスタート事業



（その他）

- スポーツ振興課
- ・ふじのくにアスリート医・科学サポート
- ・スポーツ推進委員
- 健康体育課
- ・運動部活動改革
- ・スポーツ人材バンク
- など

検討議題（案3）「スポーツ指導者の育成及び環境改善」

【県としての課題感】

- ・ 運動部活動の地域移行が進められる中、教員に代わる指導者の確保が急務だが、部活指導には技術指導だけでなく、生徒間の人間関係等への対応や発達障害を抱える生徒への対応が含まれることも考えられるため、教育的配慮ができる人材の確保が求められている。その点が人材確保が難しい要因の一つと考えられる。
- ・ 県では競技志向の指導者育成に係る事業体系は従来から整備されており、対象となる指導者についてもジュニア指導者から国体選手指導者等、幅広く継続的に展開してきた。そのため、さらなる抜本的改善の余地は限られる。
- ・ レクリエーション志向の指導者の育成に係る事業は未整備であり、需要や育成対象者など今後検討が必要。